

## 第11回 根室市創生有識者会議議事録（令和元年9月20日開催）

### 1 開会

#### 【佐藤室長】

ただいまより第11回根室市創生有識者会議を開会いたします。

開会にあたり、石垣市長よりご挨拶を申し上げます。

#### 【石垣市長】

皆様、本日は大変お忙しい中、お集まり頂き、ありがとうございます。根室市創生有識者会議の開催にあたり、一言、ご挨拶申し上げます。

平成27年10月に根室市創生総合戦略を策定してから、今回で通算11回目の開催となる本会議でございますが、第1期目となります現在の総合戦略につきましては、今年度が計画の最終年度となっております。

新たな総合戦略の策定にあたりましては、産業界、関係行政機関、教育関係、労働団体・メディア等、多様な主体の参画を得て、検討することが重要と考えており、引き続き委員をお引き受けいただいた皆様をはじめ、今回新たにご参画いただくことになった3名の皆様には、改めてお礼を申し上げます

これまで、数値目標や各事業の進捗状況などを検証しながら、介護や保育など、専門職の人材確保対策や交流人口の拡大、更には、ふるさと納税など、それぞれのお立場からご提言をいただき、施策の推進に取り組んで参りました。

今回は1期目の総括を行う会議とし、前回ご提案もありました、第2期総合戦略の策定につなげて参りたいと考えております。

本日の会議におきましては、根室市創生の更なる推進のため、皆様から忌憚のないご意見をいただけると幸いです。どうぞよろしく願いいたします。

#### 【佐藤室長】

それでは、これより議事に入りたいと思います。これからの進行は石垣市長をお願いいたします。

### 2 報告事項（進行：石垣市長）

#### 【石垣市長】

それでは、早速議事に入ります。本日は、報告事項2件、検証事項が1件となっております。

報告事項（1）根室市市民意識調査報告書について、（2）根室市人口動態分析について、事務局より説明をお願いします。

#### （1）根室市市民意識調査報告書について【説明：事務局・猪口主査】※資料1に基づき説明 （基本目標1、子育て・少子化対策に関する分野）

・子育て、少子化対策に対する市民の満足度については、平成28年度調査結果以降、3年連続で満足が増加、不満足が減少しており、これまでに行政で行ってきた、保育所や民間幼稚園の整備推進等の施策効果が現れているものと推察される。

・子育て少子化について重要だと思える施策は、昨年度と同様に2つの項目に集中しており、経済的負担の軽減が28.6%、子どもがのびのびと遊べる施設の整備が26.4%という結果となった。

・子育て・少子化についての自由意見の内容は、概ね経済的支援に関すること、託児機能に関すること、子どものための全天候室内施設に関することに集約されている。

・多くの要望があげられている全天候室内施設については、現在、基本設計が進められており、今後、実施設計や工事が進むことで、要望等は減少すると考えられる。

### (基本目標2、経済・産業に関する分野)

- ・産業振興について重要だと思う施策は、水産業基盤及び生産体制の整備が20.8%と昨年よりも4.2%減少し、観光開発、観光関連産業の育成が14.5%となり3.2%増加した。
- ・経済・雇用対策についての自由意見の内容は、漁業、水産加工業の振興を望む意見に加え、水産だけに頼らない新たな産業振興に対する意見も多く、具体的には観光関連産業や企業誘致への期待が多くあげられた。
- ・観光分野に関連した交流人口の拡大に関する市民意見の抽出では、自然、水産資源など、根室市が有する資源の有効活用に関する意見が特に多く、また、観光のPRに関する意見も多くあった。

### (基本目標3、市民協働に関する分野)

- ・市民のまちづくりへの参加意識に関して、どのような手法でまちづくりに参加したいかという設問に対して、今回のようなアンケート調査などで意思表示をしたいという意見が一番多くあった。
- ・コミュニティの維持・活性化に関する自由意見の内容は、大きく4つに分類され、行政情報に関する要望、ボランティア活用のあり方、市民参加のまちづくり、地域活性化へのスポーツ振興のあり方についてとなった。
- ・行政情報の発信に関して、災害情報や各種イベントに関する情報提供の要望があった。
- ・まちづくりへの市民参加のあり方として、まちづくりに対して市民の参画意向もみられることから、市民の意見や要望を、施策に反映していくための仕組みづくりを検討する必要がある。

## (2) 根室市人口動態分析について【説明：事務局・大沼主査】※資料2に基づき説明

- ・2018年(1月～12月)の減少数は前年比で446人となり、2016年、2017年と600人台の減少が続いたが、減少幅が縮小した。  
内訳は、男230人、女216人となり、2017年に女性の減少数が359人と2013年以降最大であったが、216人と大幅に減少幅が縮小した。
- ・女性の生産年齢人口の推移では、15～19歳、25歳～29歳、30歳～34歳、35歳～39歳の女性人口が2000年と2018年を比較するとほぼ半減する結果となり、生産年齢人口における女性の減少4,633人のうち、さきの4区分での減少が2,107人を占めるなど、進学期や子育て世代の女性の減少が顕著になった。
- ・2017年に比べ、2018年における0～14歳の男女の年少人口、15～64歳の女性の生産年齢人口の転出超過が大幅に減少しており、親子での転出が大幅に減ったものと考えられ、その要因としては、市立病院の経産婦の分娩再開や多子世帯における保育料、給食費の無償化や市街地地区中学校の2校化維持の方針などにより、市民意識に改善効果がみられることや、その他様々な要因が複合的に作用していると考えられる。

## 3 検証事項(進行：石垣市長)

### [石垣市長]

それでは、次に検証事項として、根室市創生総合戦略における平成30年度の取り組みの効果検証について、事務局より説明をお願いします。

- (1) 根室市創生総合戦略における平成30年度の取り組み(H30.4～H31.3)の効果検証について

## 基本目標 1

○住み続けられる「安心」と「支え合い」の地域を守り、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

### [説明：事務局・佐藤室長] ※資料3、4に基づき説明

根室市創生総合戦略につきましては、有識者会議において進捗管理を行うこととしております。

根室市創生総合戦略は平成27年に策定し、計画期間を5年と定め、皆様からご意見をいただきながら計画を推進してきたところであります。今年度が最終年度となっており、先ほどご報告いたしました、市民意識調査や人口動態分析を踏まえながら効果検証調書として取りまとめましたのでご説明いたします。

### 数値目標の設定について

- ・合計特殊出生率を5年で1.49とし0.12ポイント向上
- ・年少人口割合を5年で10.3%とし0.3ポイント向上
- ・幼稚園・保育所待機児童数を5年で季節待機児童0人達成
- ・市内分娩可能施設を5年で分娩できる医療施設1カ所

### ■具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）の達成状況について

(ア) 子育て・少子化対策の推進

①出会い、結婚、妊娠、出産、育児に関する機会や相談、支援体制の強化

**[内部検証] 「B 概ね順調に進んでいる」**

重要業績評価指数（KPI）の状況、更には具体的事業の事業量の状況から、「B 概ね順調に進んでいる」と評価できる。

今後は、子育てサークルの減少に伴い、活動に停滞感が見られることから、支援のあり方等について検討する必要があるが、子育て事業への参加人数は増加に転じたことから、積極的な各種情報提供の実施に努める必要がある。

②子ども医療費助成など子育て世代の経済的な負担軽減の推進

**[内部検証] 「B 概ね順調に進んでいる」**

重要業績評価指数（KPI）の状況、更には具体的事業の事業量の状況から、「B 概ね順調に進んでいる」と評価できる。

市民意識調査においては、少子化・子育てについて「経済的負担の軽減（保育料の軽減など）」の要望が28.6%と最も高くなっており、本年10月より国による幼児教育・保育無料化が開始されるが、子育てしやすい環境のより一層の充実を図るため、市独自支援による負担軽減に向けた対応を検討する必要がある。

③保育施設の整備と多様な保育サービスの充実

**[内部検証] 「B 概ね順調に進んでいる」**

重要業績評価指数（KPI）の状況、更には具体的事業の事業量の状況から、「B 概ね順調に進んでいる」と評価できる。

市民意識調査において26.4%と市民要望が高い、「子どもがのびのびと遊べる施設の整備」について、平成30年度に、「屋内遊戯施設」の基本構想を策定したところである。

引き続き、子育て支援の担い手となる人材育成とともに子育て環境の充実を図る必要がある。

④家庭と仕事の両立を図り子育てに取組む環境づくりの推進

**[内部検証] 「B 概ね順調に進んでいる」**

重要業績評価指数（K P I）の状況、更には具体的事業の事業量の状況から、「B 概ね順調に進んでいる」と評価できる。

平成30年度より、へき地保育所の通年開所が開始され、留守家庭児童会及び放課後教室等の利用数についても一定の利用者数であることから、今後においては、家庭と仕事の両立に向けた環境づくりとして、特に男性の育児参加を促進する方策の検討を図る必要がある。

#### （イ）周産期医療と小児医療体制の整備

##### ①安心して子どもを産み育てられる周産期医療と小児医療体制の整備

###### 【内部検証】 「B 概ね順調に進んでいる」

重要業績評価指数（K P I）の状況、更には具体的事業の事業量の状況から、「B 概ね順調に進んでいる」と評価できる。

医療体制に対する満足意識に関する市民意識調査の結果は、不満とする市民の割合が減少傾向にあることから、引き続き、医療従事者の確保対策や安定的な周産期医療体制づくりに取り組む必要がある。

#### 【石垣市長】

それでは、ただいまの説明を踏まえて、検証を行っていきたいと思います。

基本目標1は、主に子育て・少子化対策に関する分野でございますが、ご意見などありましたら、伺っていきたいと思います。

#### 【平賀委員】

年少の子ども達の人口減少について、根室市内の幼稚園、保育所においても以前と比べて人数が少なくなってきたと感じています。

市でも、以前に子ども・子育て会議で話をした子育て支援員の研修を実施して、子育て支援をサポートする人材を増やした他、睦の園幼稚園を認定こども園に移行するために市役所の方に協力をいただくなど、たくさん取り組んでいると感じています。

しかし、専門職という分野でお話しすると、支援を必要とするお子さんは、どこの地域でも多くなってきており、例えば私どもの幼稚園ですと、来年、小学校に通う子どもが21人おりますが、その内の12～13人が、何らかの支援を必要とする子となっています。

臨床心理士のサポートを受けたくても、一年間のスケジュールがすぐに埋まってしまう、早期に発見して色々サポートできればよいのですが、根室市の場合は1人の心理士さんが各保育園、小学校を巡回しているため十分なケアが受けられない。小さい頃から様々な支援、手立てをすることが、その子の将来に大きく関わってくるため、専門職の増員を望んでいます。

一時預かり事業については、まつもと保育所で行われていますが、予約が必要な一時預かり事業となっており、本来、一時預かりというのは緊急性がある事態が考えられますので、もう少し幅を持った対応ができると有難いと思います。

また、保護者の方を見ると、子どもが病気になって市立根室病院を受診しても、釧路に搬送されるケースが多く負担になっているように感じます。釧路に搬送されて入院生活が長引くと、家計や、その下のお子さんの面倒など様々な弊害があると思いますので、根室市内で対応できる医療体制の整備が望ましいと思います。

#### 【石垣市長】

臨床心理士の件、一時預かりに係る緊急性の件、また、病院については恐らくお子さんが骨折をした場合などにおける対応だと思います。現在、整形外科の常勤医師が不在になっており、手術ができない等の事情もありますが、しっかりと取り組んでまいりたいと考えております。

#### 【石井吉春委員】

今年度で第1期の総合戦略が終わる時期ということで、次に繋げていくための評価をして、重要な論点を出す必要があると思います。

他の地域でも同様の取組を行っており、似たような話をするがありますが、シンプルに言うと、出生率については、どういう比率で産まれたかということと、実数として何人という、実際に

は両方をバランス良く満たしている必要があり、極端に言うと「家庭環境に恵まれた人だけが残った場合、人口は減っているが出生率が上がる」というような話があって、出生率が上がることで、実際に子どもの人数が増えているということは、北海道ではリンクしていないことが多く、根室市もすごく悪いわけではありませんが、掲げた目標との対比では、そのようになっていないという状況ではないかと思います。

その点を、きちんと受け止めて全体の評価を行わないと、次にうまく繋がらない。概ね順調ということは、まずまずという意味ですが、そうはなっていないだろうと思います。

特にK P Iの話をする、個々のK P Iの達成状況と、個々の事業の達成状況について、どれくらいの人数がという点については、半分怪しいと思う部分もありながら進んできているので、一定期間が経過した際には、その点の整合性も考えなくてはいけない。

恐らく、ミクロの政策に係る指標については、すごくきめ細かく予算を使っていますので、個別では割といい数字が出ていると思いますが、全体としては、人口が減らない事にどれくらい結びついているかという、あまり結びついていない。その点はきちんと受け止める必要があるのではないかと思います。

手厚く子育て支援の施策を行っていますが、一般的にはそこを手厚くしても、出生数を増やす効果が低いということは分かっていますので、そこを徹底して、ばら撒きのようにやるという方向に私は行って欲しくないと思います。むしろ重点的に選んでやっていかないと、なかなか実効性を上げられないということ、きちんと見直して欲しいと思います。市立病院で出産ができるようになりましたが、市立病院の経営面の負担というのはかなり大きく、そういう中でも一生懸命やっているのですが、効果は上がっているのでしょうか。逆にそこをカバーする違う政策や、もっと違う子育てに係る政策を行うべきかは、もっとしっかりと議論する必要があります。

今の病院体制づくりは、申し訳無いですが綱渡りのしかやれていなくて、持続性を守っていくことが厳しい状況にあるのが実態だと思います。一瞬だけでよかった話を、逆にできなかった場合はどうかというように、本当にやるべきことを持続的にできて、市政の環境づくりに繋がるものを重点化することを、少しシビアに議論しなくてはならないのではないのでしょうか。特にこの分野の施策については、そういう目で考えていく必要があるという事を申し上げたいと思います。

個別の評価と全体の評価のギャップが出てしまうこともあるので、ギャップが出たときに個別のK P Iを見直すという選択が必要となることもあります。この部分は極端に言うともうそういう言い方をした方がいいのかもしれないという印象です。

#### **【石垣市長】**

細かい政策は打ってはいるけれども、全体像とは合っていないため、重点的に取り組むべき政策を定め、見えるような形で論議をしていくべきとのご意見と受け取りました。

また、病院経営についても、半分くらいは医大からの派遣になっており、個人を呼ぶ場合はその方が辞められた時のフォローがありませんので、ご指摘のとおり大変な中での運営となっております。そういったことから大学から派遣をいただくのが理想的なのですが、現実的にはなかなかできないという状況があります。

2期目を策定するにあたっては、こういったことを踏まえて論議すべきとのご意見ですので、しっかりと参考にして取り組んでまいります。

それでは、基本目標1について全体の評価をしていきたいと思いますが、各施策の状況を踏まえて、石井吉春先生はどのような評価をされますでしょうか。

#### **【石井吉春委員】**

この評価については、「C やや遅れている」とした方が今後の論議が深まると考えます。個別の施策を見直すことは無いと思いますが、全体の方は評価をCとしておいて、指標の見直しや、施策の重点化を行った方が次に繋がると思います。

#### **【石垣市長】**

ただいま、石井先生からご意見をいただき、基本目標1の評価については、「C やや遅れている」と評価させていただきますが、皆さんいかがでしょうか。※【委員了承】

## 基本目標2

○住みたいと思える「ひと」と「しごと」を呼び込み、安定した雇用、新しい人の流れをつくる

### 数値目標の設定について

- ・20～39歳女性の人口を5年で32人減少を抑制し2,357人確保
- ・生産年齢人口の割合を5年で56.5%とし0.1ポイント向上
- ・人口減少率を5年で0.81%とし0.97ポイント向上

### ■具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）の達成状況について

#### (ア) 経済・雇用対策の推進

##### ①労働力不足解消のための雇用のミスマッチ解消など需給不均衡の改善

###### [内部検証] C やや遅れている

重要業績評価指標（KPI）の状況から「C やや遅れている」と評価する。

引き続き、女性が働きやすい環境づくりと、人材確保対策を進めつつ、更なる就業環境の充実とともに、新たな雇用創出のための対策が必要である。

##### ②UIターン者向け支援の充実による起業促進と労働力の確保

###### [内部検証] C やや遅れている

重要業績評価指標（KPI）の状況から、「C やや遅れている」と評価する。

今後は、利用実績の低い、各種修学資金貸付事業制度の周知を図るとともに、雇用機会の充実や、地域人材の確保につながる若い世代のUIターンの促進を行う必要がある。

##### ③商工業後継者の不足に伴う事業承継のための支援等の充実

###### [内部検証] C やや遅れている

重要業績評価指標（KPI）のうち「人口1,000人当たりの法人数」については、順調に推移しているものの、他の重要業績評価指標（KPI）の状況、更には具体的な事業の事業量の状況から「C やや遅れている」と評価する。

市内の中小企業の支援・充実を図り、今後も、未着手事業の早期展開を図り、新たな雇用の場の創出に向けた取組みが必要である。

##### ④農林漁業の持続的な発展及び担い手対策の推進と若年就業者の定着化促進

###### [内部検証] C やや遅れている

新規漁業就業者数については、伸び悩んでいる状況であるが、他の重要業績評価指標（KPI）の状況から、「B 概ね順調に進んでいる」と評価できる。

今後とも、一次産業の持続的な発展のための生産基盤の強化を図るとともに、引き続き、担い手対策に取り組む必要がある。

##### ⑤産学官金の連携及び農商工連携と6次産業化の促進

###### [内部検証] C やや遅れている

重要業績評価指標（KPI）の状況から、「B概ね順調に進んでいる」と評価できる。

今後も、資源増大や付加価値向上に向けた産学官金連携を加速するほか、引き続き、国内外に向けた発信を行い、ブランド化を促進する必要がある。

#### (イ) 交流人口の拡大

##### ①長期滞在者など交流人口の誘客強化と本格移住の促進

###### [内部検証] B 概ね順調に進んでいる

長期滞在者の滞在日数は減少傾向にあるが、重要業績評価指標（KPI）の状況から、「B概ね順調に進んでいる」と評価できる。

地域おこし協力隊の活動など交流人口拡大の取組は順調であることから、あらゆる分野での協力隊の活用を検討するとともに、U I ターン者等の若い世代の根室への移住拡大を促進する必要がある。

## ②世界に誇る自然、歴史、食の魅力を発信する観光プロモーションの強化

### 【内部検証】 B 概ね順調に進んでいる

重要業績評価指標（K P I）の状況から、「B 概ね順調に進んでいる」と評価できる。

引き続き、根室の地域資源を活かした観光の魅力づくり、魅力を伝えるための効果的な情報発信、根室の持つ「絶景」と「食」の魅力の発信強化を図るとともに、冷涼な気候をP Rし、更なる交流人口の拡大を図る。

### 【石垣市長】

それでは、ただいまの説明を踏まえて、検証を行っていきたいと思います。

基本目標2は、主に産業・雇用に関する分野でございますが、ご意見などありましたら、伺っていきたく思います。

### 【石井至委員】

観光分野の「②世界に誇る自然、歴史、食の魅力を発信する観光プロモーションの強化」について、K P Iを達成している点はいいと思いますが、第2期に入るにあたっては、今の目標は低すぎると感じます。全国平均の政府目標を意識していただくとすると、来年達成できるかはわかりませんが、例えばインバウンドで考えると来年は4 0 0 0万人、1 0年後に6 0 0 0万人となっており、1 0年で1. 5倍にするというのが政府の考えている目標なので、それ以上であればもっといいですし、少なくともその程度を目標にすべきと考えます。確かに目標は達成していますが、目標が低かったように感じます。

質問ですが、長期滞在者の滞在日数について、平成2 8年に2, 1 9 1日間あったものが、平成3 0年では半減して9 7 1日間となり、かなり減っていますが要因と、背景などご説明いただけますか。

### 【井口主任】

移住体験住宅については冬場の稼働率が低いことが課題になっており、ふるさと納税の返礼品として、冬に1か月間利用できるようなチケットを出したところ、とてもニーズがあり冬の稼働率が上がったことから、平成2 8年度は非常にいい数字となりました。次の年については返礼品の率の関係から1か月という設定ができず、1 0日間のものに変更しましたがインパクトが足りず、申し込みが無かったことから利用日数が減少したと考えています。平成3 0年度には返礼品にありませんでした。

日本一涼しい街ということで夏に人気がある施設ですので、夏に申し込みが殺到しますが、冬の長期滞在については、冬道を運転する懸念があることなどから申し込みが伸びず、平成2 8年度だけ数字が伸びたような形になっております。

### 【石井至委員】

長期滞在の定義は1週間以上になりますか。夏の予約は満員なのでしょうか。

### 【井口主任】

根室市の場合は1週間から半年までを契約期間とできるよう要綱を作っており、大体1か月くらいの契約が多くなっています。夏は満員になっています。

### 【石井至委員】

そうすると、夏は満員で1 0 0 0日間くらいで、それ以上伸ばすには夏以外の長期滞在を増やすしかないという事でしょうか。

### 【井口主任】

稼働率を上げないと、これ以上の日数は望めないと思います。

### 【石垣市長】

施設を増やすということも、夏の受入日数増加につながると思います。

歯舞地区マリナビジョンの関係から伊藤委員、何かございませんか。

#### **【伊藤委員】**

④農林漁業の持続的な発展及び担い手対策の推進と若年就業者の定着化促進についてですが、新規漁業就業者を5年で50人ということは、1年で10人くらいと目標が低いので、このレベルであれば「概ね順調に進んでいる」ということなのですが、今は漁業の体制が非常に厳しいことから、漁業離れが起きています。

このまま行くと、将来、漁業をやる能力はあっても、就業者がいなくて倒産する懸念もあり、歯舞のケースですが、国の制度にある外国人就業者の確保について検討しなければならないのではないかと議論になっています。

閣雲に外国人労働者を採用する訳にもいかないので、年間の雇用を確保して、居住権の問題も整理してという事になりますから、簡単にはできないと思いますが、既に前例として取り組んでいるところもあります。

そういった状況を踏まえて、歯舞でも刺し網漁船を15艘くらい操業していますが、今できる業態からでもやっていくべきではないかと思います。

また、サンマが記録的な不漁という中にあり、事故もあって大変な状況ですが、全サンマでは、サンマ漁にもその制度を適応できるよう、国と折衝しており、どうなるかはわかりませんが、そういう時代になってきているのだと思っています。

ここの項目だけ見ると、概ね順調に進んでいるということですが、日本人の後継者は少ない、就業環境も厳しいとなると、他の仕事に転業する方も増えていますので、そこを解消するために、2、3年の間に目途をつけたいと思って計画をしています。この点を将来、改善できるかどうかについては、地域に外国人が入ることによって、どういうことになるのか、地域の住民とも相談しながら慎重に進めるべき部分もあります。

現在、一人の外国人の方が結婚して地域コミュニティに入り、順調なケースもありますから、そういう状況も参考にしながら、漁業組合が責任を持った体制がとれるかどうかを考えていきたいと思っています。

その他の項目については、非常に厳しい状況になっていますが、そのとおりの状況だと思います。私たちは根室市の中の一地域ではありますが、歯舞マリナビジョン協議会としての活動は、非常に広範囲にわたっており高評価をいただいています。少子高齢化による人口減少に合わせて、定住人口は否応なしに減少が進みますが、交流人口を増やす方向で様々な取組を行っており、数年前から漁民泊体験を始め、それが評判を呼んで外国人バードウォッチャーも入っていますし、修学旅行生も来るようになりました。一般の方も、気温38℃の暑いところから、歯舞に来ると20℃くらいで気候もいいということを知っており、そういう環境を欲しているということがある程度わかっていますので、都市部の旅行代理店に職員を派遣して、根室に来る観光人口の一部でも歯舞でお世話できることがないか協議しています。

観光客の希望としては、地域の状況を見て、引き網とか潮干狩りなどの漁業体験を楽しむ取組の他に、地元の旬の食を提供していただきたいという強い要望があり、現在、挑戦しているところです。今の漁協の食堂スペースだけで足りるかどうかも含めて、新しい施設構築の検討を進めているところであり、根室市に少しでも役に立つ地域になるよう、歯舞地区を挙げて取り組んでいます。将来的にこの評価も順調となるように頑張っていきたいと思っています。

#### **【石垣市長】**

渚泊（漁民泊）については大変評判がよく、宿泊された方からも、すごくよかったという話を伺っています。

外国人労働者に関わって、廣田委員から何かアドバイスはございませんか。

#### **【廣田委員】**

2016年のロシアの排他的経済水域での流し網禁止という外的な要因で、一気に根室の水揚げ、漁業生産、水産加工も大きな影響を受けています。

働き手については、以前からハローワークに求人を出しても、ほとんど応募者がいない状態であり、子育てが終わる頃の女性を中心に、働き手として雇用してきましたが、その方たちの高齢化が

非常に目立ってきています。これから先5年、10年となると、もっと厳しい環境が見込まれ、外国人労働者に頼らざるを得ない、切羽詰まってこれでなんとか凌いでいる状況になっています。外国人労働者頼みが好ましいということではなく、200人以上の外国人労働者が市内にいる、その状況の裏側にどのような現状があるのかを、行政は突き詰めて考えていかないと、相当深刻な状態になっていると思います。

私は、有識者会議としての検証結果については、論議を巻き起こすためにも、評価についてはもっと厳しくDの「遅れている」にして、問題を掘り下げていくことで、様々な問題解決につながるような意見が皆さんから出てくるように思います。

ロシア海域のサケマスだけではなく、最近秋サケ、さんまも不漁であり、本当に厳しい状況になっておりますので、好調なふるさと納税の結果に隠れている、根室の基幹産業の問題点、厳しさをもっと掘り下げて取り上げてはどうでしょうか。

#### **【石垣市長】**

今の論議も踏まえて、基本目標2について全体の評価をしていきたいと思います。各施策の状況を踏まえて、石井吉春先生はどのような評価をされますでしょうか。

#### **【石井吉春委員】**

経済の面で特に北海道では、外部環境の変化による影響と、施策によって対応している影響とでは、外部環境による影響が圧倒的に強く出ていて、道内の中でも根室市は水産業、水産加工業を中心に非常に影響を受けています。しかし、その点はある程度は分けて考えないと、どこまでやってもきりが無い状況になります。外部環境の影響を考慮しないわけではありませんが、総合戦略の評価の上では割り切ったほうが良いと思います。経済面では手がかりを見つけて、どこを頑張るかをきちんと出していかないと、どんどんダメになってやる気がなくなり、何をやっても無駄というようになってきますので、私はDではなくCを付けて、尚且つ、頑張った傾向が見えるところはきちんと書いて、もっと頑張るべきところと、環境変化に対応する施策も必要だということも記載するような書き分けが必要かと思います。

水産業、水産加工については、供給サイドで考えると、育てる漁業に転換しなければならない状況であり、資源が少なくなっていることに対する対応策はありませんので、育てる漁業にもっと力を入れなければならないと思います。

今後は、環境変化を踏まえた話をしなければならぬと思いますし、人の問題で言えば、外国人労働者に頼らざるを得ないところもありますが、これからは、定着できる外国人労働者を受け入れるのが主流になってきますので、対応について検証すべきだと思います。

また、定着しない形で受け入れることについても、対応を考えなければなりません。

観光のような形で交流人口を増やせる可能性もありますし、いろいろな施策の一部には効果が見えていた部分もありますので、その点については評価に出して、どこを頑張るべきかについても、少し記述すべきだと思います。

#### **【石垣市長】**

廣田委員からの好調なふるさと納税の裏側に問題が隠れているという点については重く受け止め、今後、考えていかなければならないと思っております。

ただいまの議論も踏まえまして、基本目標2の評価については、「**C やや遅れている**」と評価させていただきますが、皆さんいかがでしょうか。※【委員了承】

### 基本目標3

○みんなで実践する「市民協働」を推進し、時代にあった地域をつくり市民サービスを維持する

#### 数値目標の設定について

- ・地域活動や審議会等への女性の参加率を5年で25.0%とし4.4ポイント向上
- ・まちづくりへ参加したいと思う市民の割合を5年で85.0%とし5.6ポイント向上
- ・20～39歳女性人口について、5年で32人減少を抑制し2,357人確保

#### ■具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）の達成状況について

(ア) コミュニティの維持・活性化

①市民活動団体の育成や市民活動の組織化、ネットワーク化の支援

##### 【内部検証】 B 概ね順調に進んでいる

重要業績評価指標（KPI）の状況、更にはまちづくり団体が組織化されている状況から、「B 概ね順調に進んでいる」と評価する。

今後は、市民のまちづくりへの参加意識を醸成するとともに、将来を担う人材の育成など、市民活動の活性化につながる取組みの推進を図る必要がある。

②コミュニティ活動を牽引する「まちづくりコーディネーター」などの育成

##### 【内部検証】 B 概ね順調に進んでいる

KPIは未達成ではあるものの、重要業績評価指標（KPI）の状況から、「B 概ね順調に進んでいる」と評価する。

任期満了となった地域おこし協力隊が定住していることや、現在委嘱中の隊員も積極的な地域おこし活動がみられていることから、引き続き、あらゆる分野での協力隊の活用を検討する。

(イ) 地域環境との共生

①既存公共施設の有効活用による都市機能の充実

##### 【内部検証】 C やや遅れている

重要業績評価指標（KPI）の状況から、「C やや遅れている」と評価する。

今後は、利活用にあたっての遊休財産の施設状況等を踏まえた条件整理を行うとともに、地域要望等も勘案し判断する必要がある。

②官民協働による地方創生の推進

##### 【内部検証】 B 概ね順調に進んでいる

重要業績評価指標（KPI）の状況から、「B 概ね順調に進んでいる」と評価する。

民間企業等の知識・経験等を取り入れ、官民協働による地方創生を進めていくため、引き続き、企業、団体等と受け入れにあたっての調整を行っていく必要がある。

(ウ) 地方創生の計画的な推進

①ふるさと納税制度の推進と寄附金を活用した地方創生

##### 【内部検証】 A 順調に進んでいる

重要業績評価指標（KPI）の状況から「A 順調に進んでいる」と評価する。

平成29年度に設置した地方創生関連7基金について、当初積立目標期間を1年前倒しし、2ヵ年で目標額に達したことから、新たに、令和元年度から5ヵ年の積立目標を設定したものであり、今後も、計画的に積み増しを行うとともに、基金を活用した安定的な事業実施により根室市創生を推進する。

#### 【佐藤室長】

引き続き、地方創生の推進に関するふるさと納税実施効果について担当から説明いたします。

## ・地方創生の推進に関するふるさと納税実施効果について

[説明：事務局・塩原主査] ※資料5に基づき説明

・ふるさと納税がもたらす主な効果としては、ふるさと応援寄附金を活用して事業を実施することと、市内の民間事業者から購入して寄附者の方に送付している記念品の二つが大きなものになる。

・K P Iの達成度を測ることに加え、ふるさと納税推進事業に参加している市内民間事業者や市内一般市民の方々等、広くふるさと納税の地域貢献の度合いを認識してもらうことを目的として推計した。

・4年間で総額135億円の多額の寄附金があり、その内、寄附金受納に要した費用として、事務経費等を含めた記念品贈呈に係る費用に約68億円、寄附金を事業に活用した額が約40億円、将来への安定的な活用に向けた基金への積立額が27億円、総額135億円となった。

・平成27年度から平成30年度の4か年、総額135億円に対する経済波及効果は、約126億円となり、域内総生産を約68億円押し上げ、雇用者誘発人数は734人と試算した。

・記念品贈呈による経済波及効果について、根室市で記念品に支出した金額が約62億円になり、その支出による経済波及効果は46億円、域内総生産を約20億円押し上げ、雇用誘発人数は213人と試算する結果になった。

・62億円の支出に対して、経済波及効果46億円となった要因を分析すると、1つに記念品を仕入れる際に一部域外からの仕入れがあることや、大きな要因としては62億円に含まれる送料が、3、4割程度を占める等の影響が推察される。

・令和元年度の記念品取扱事業者全82社に対し、平成30年度及び令和元年度における、ふるさと納税に係る従事者数及び予定を含む増員数に関するアンケート調査を実施した。

調査結果は回答数77社、回答率93.9%となり、平成30年度中に正規又は非正規雇用で業務従事者の増員を行ったと回答があった事業者数は40社、総数では82人の増員となった。

また、今年度の増員予定は63人となり、推定結果と比べると若干少ない結果となったが、記念品贈呈の事業によって今後も雇用の増が期待できると考えられる。

・根室市創生総合戦略に掲げる重要業績評価指標(K P I)の達成状況については、4項目中3項目で100%を超える結果となった。ふるさと納税推進による経済波及効果については、5年で130億円という数値目標を立てたが、現状は126億円で97%という結果になった。これについては、送料など、経済波及効果に直接的に関わらない部分も大きいことや、将来への安定的な活用に向けた積立額として、基金に積んでいる金額もあり、直接的に効果として現れないものが結果に影響していると考えられるが、現状の126億円については平成30年度までの実績となっており、今年度も含めた5年間では130億円の目標も達成できると思われる。

### [石垣市長]

それでは、ただいまの説明を踏まえて、検証を行っていきたいと思います。

基本目標3は、主に市民協働・地域づくりに関する分野でございますが、ご意見などありましたら、伺っていきたく思います。

### [石井吉春委員]

評価自体はこれでいいと思います。

しかし、ふるさと納税が非常に順調に、潤沢に集まっており、財政的にもかなり余裕ができた実態はあると思いますが、これからのことを考えると、ふるさと納税自体も不透明なところもありますので、過度に依存するのは、非常に問題があるということを実際に考える必要があります。

例えば基金の作り方を見ると、医療関係の基金は赤字補填のようになっており、そういうものに充てるのは問題があると思います。本来、経常的な支出というのは、自主的な収入で賄うべきですので、子育て対策でも経常的な経費があったように思いますが、本来の使い方としては問題なので、資金があったのであまり問題になっていませんが、次の段階では、本当に地方創生の目的に則した重点的な使い方を考えなければなりません。

一時の財政の潤沢さが、将来の持続性を失わせるというリスクを、今のうちに考えなくてはならないと思っており、個人的にはJ Rの維持など、資金が本当に必要で地方創生に資するものは何か

ということを、次につなげるために検討していただきたい。

#### **【石垣市長】**

ふるさと納税に過度に依存する体質を見極めて、次にどうつなげていくか、ふるさと納税の在り方について検証すべきということでした。評価としては「**B 概ね順調に進んでいる**」ということによろしいでしょうか。※【委員了承】

#### **【石垣市長】**

それでは、基本目標1から基本目標3まで、全ての外部評価をいただきました。基本目標1については「**C やや遅れている**」、基本目標2については「**C やや遅れている**」、基本目標3については「**B 概ね順調に進んでいる**」という評価になりました。

最後に、石井吉春先生、石井至委員のお二人から、全体を通してご意見があればお願いしたいと思えます。

#### **【石井至委員】**

次の総合戦略策定にあたっては、KPIの見直しが必要だと思います。例えば子育て支援策ですが、子育てサークルが減っているということは、もしかしたら、需要がないのかもしれませんが、そうであればKPIにすることが適切かという疑問もあります。仮にそれが伸びたとしたら、出生率や人数が増えるのかという検討も含め、KPIと個別目標の見直しを考えるということが一点目です。

二点目はふるさと納税についてですが、資金で解決する問題はたくさんあるので、多い方がいいと思えます。今では50億円規模にまで達したことは、とてもすごいことだと思いますが、それに甘んじず、もっと研究して100億円を目指して頑張ってください。

三点目は、現在、世間でよく耳にする言葉で、この会議では出てきていないものがたくさんあって、例えば、もっとロボットやAIなどIT化を進めると省力化ができるかもしれません。

長期滞在についても、今は働き方改革の関係でワーケーションとって、勤務時間だけど休みと一緒にとれるような制度もあったり、古い学校の活用がないということですが、ベンチャー企業の拠点として活用したり、ホテルにしたり、全国的には実例がある取組ですので、そういうものをうまく合わせるといいと思えます。

また、ワーケーションや北方領土の経済活動などを見据えると、とにかく今はインターネットが速くないと話にならないので、そういうことに投資をして、この涼しい気候とか、地理的なことは他にはない部分なので、そこを活かした新産業を考えてはどうかと思えます。

#### **【石井吉春委員】**

経済を元気にするためのベースは、まずは技術になります。育てる漁業の話もしましたが、新しい技術を取り込むということ、ローカルベースでもかなり積極的にやらなければならない時代になっていると思えますので、その部分はふるさと納税の資金活用も考えて、重点的に取り組まなければ、新しい産業というのは難しいと思えます。

また、数日前に過疎の議論をする機会があり、その座長として参加をしてきましたが、新機軸を出さねばならないということで、徹底して広域連携をするという話をしています。根室市は半島なので、広域連携する際の相手先が非常に難しいのは理解しており、そのため、あまり進んでいないところもあるのかと思えますが、今後は上手に機能分担していかないと、財政も含めて厳しくなっていくので、思い切って近隣の自治体と一緒に様々なことを行ってみることを検討すべきだと思います。特に総合戦略も、ひと・まち・しごと創生本部が一番意識したのは広域連携となっており、1期目の戦略からあったものです。相手に何かを譲っても、自分は別のものを受けるというように、どこに自分が特化していくかということを手で判断して、広域連携で実現しようという話なので、是非、戦略的に考えて行くべきではないかと思えます。

#### **【石垣市長】**

それでは以上で会議は終了いたしますが、総合戦略に基づいた事業を着実に推進するため、今後とも引き続き、委員皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

本日は、誠にありがとうございました。